

YOUTH MANNA

Grace
Community
2024
Be

Acts 2:42



彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。
使徒の働き 2章42節

2024/7/1(月)

I サムエル記14:16-35

ヨナタンと道具持ちの活躍によりペリシテ人の陣営には非常な恐れがあった。状況を知ったサウルは思い出したように神の箱を持って来させるけれど、騒動が大きくなると御心を求めることを中断して戦場になだれ混んでいく。

●サウルの行動に一貫性が無いのはなぜだろう？彼の信仰とどのように関係しているだろうか？

●(24節-)サウルの愚かな命令によって兵たちは苦しんだ。35節で祭壇を築くけれど、そこには果たして信仰があったのだろうか？神様を見るよりも、周りの状況や人にどう見られるかばかり気にしてしまうことはある？

★イエス様に心を定めて歩もう！

2024/7/2(火)

I サムエル記14:36-52

サウルはペリシテ人を追って行こうとしたけど、祭司に神の前に出ることをすすめられて、神様に伺うことにした。

●神様の沈黙を、サウルはどのように受け取ったかな？(38,39)

●サウルが犯人探しをした結果、息子のヨナタンが取り分けられた。サウルはヨナタンは死ななければならぬと告げたけれど、それを止めたのは誰だった？

●サウルはひたすら自分の「王らしさ」を守ることで考えているように見える。私たちの内にも似たようなところはあるだろうか？何を気を付けるべきだろうか？

2024/7/3(水)

I サムエル記15:1-16

サウルは王として、神様のことばに従う信仰を試された。アマレク人に対することばは、申命記25:17-19に書かれているよ。

●サウルは神様の命令(2,3)に従わなかった。それはなぜ？9節を読もう。

●サムエルに指摘されたとき、サウルはどのような言い訳をした？それは本当のこと？それともその場をやり過ごすための嘘？

●神様に従うとき、自分のしたいことだけ従ったり、みことばを自分に都合良く聞いてたりすることはあるだろうか？「神様を愛する」とはどういうことか、思い巡らしてみよう！

2024/7/4(木)

I サムエル記15:17-35

・サムエルが、なぜ主の御声に聞き従わなかったのかと聞いたとき、サウルは何と答えた？

・続けてサムエルが22,23節で語ったとき、サウルは罪を認めただけれど、誰かのせいにしていたり、王としての対面を保とうとしている様子があるね。本当に自分が変わる必要を感じているだろうか？

・30節でもサウルは「民と長老たちの前で私を立ててください」と言っている。サウルの悔い改めの姿は神様の前にどう見えていたのだろうか？

神様が喜ばれる悔い改めの姿とはどのようなものだろうか？それを邪魔するのはどんなものがあるだろうか？

2024/7/5(金)

I サムエル記16章

●サムエルが次の王の油注ぎせよ、と言われてエッサイのもとに来た時、誰のどんな所を見て「この人かも」と思ったかな？6-7v

●何かを決める時に、見た目の良さやうまくいきそうな感じに影響されて「本当に大切なこと」に目がとまらないうまくいかないかな？サムエルがダビデに会うまでに何度も神様に聞いたように、僕らは神様に聞く必要があるね。日常の小さなことから神様に聞いてやるクセをつけていこう。

2024/7/6(土)

I サムエル記17:1-19

有名なダビデとゴリヤテのエピソードが始まるよとしている今日の聖書箇所！

身体が3メートル近く、身につける鎧ですら、人1人くらいの重さがあった、力だけでは彼に勝つ人は誰もいないように思えるね。ゴリヤテもそんな自分を誇ってイスラエルの人たちに叫び続け、イスラエルはすっかりこわくなってしまった。そんな中、神様はダビデの最初の働き、戦いの機会を用意してくださっていることが分かるね。

私たちも目に見える環境や周りを恐れてしまうことがある。だけど、本当に恐れるべきお方は誰か改めて確認して覚えていこう！

2024/7/7(日)

I サムエル記17:20-40

「獅子や熊の爪からしもべを守ってください。主は、このペリシテ人の手からも私を救い出してくださいませ」

ダビデは羊飼いとて働く日々での神様との生きた交わりによって、目の前の強敵よりも圧倒的な力をもつ主なる神を知っていました。

ダビデの力は、圧倒的な神様への信頼であり、何のために戦うのかをダビデはよく知っていました。毎日の働きも、戦いであっても、変わらぬ神様への信仰がダビデを力づけていたんだね。

私たちの毎日はどうでしょうか。毎日の生活の中で、良い時もそうでない時も、自分自身の力となるもの、頼っているものはなんですか？

今日のデボーションが、生きた神の交わりとなるように、主が私を力づけてくださるように祈ろう！